

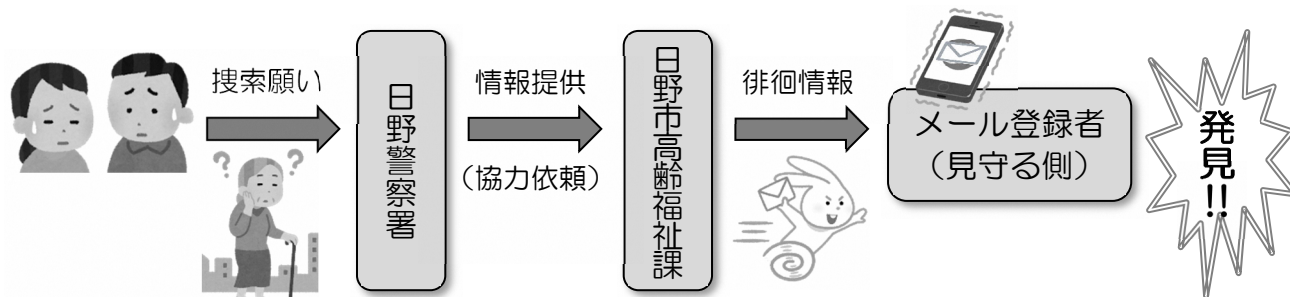
もう1つのお知らせ ～行方不明者情報

「日野市行方不明者情報メール」では、見守りのポイント等をお知らせしているほか、認知症による高齢者の徘徊が発生した場合に、日野市から行方不明者情報を発信して該当者の早期発見・保護を図っています。

「日野市行方不明者情報メール」の仕組み

認知症により徘徊のおそれのある高齢者の情報を、本人やご家族の同意を得て事前に市に登録する「認知症徘徊高齢者SOSネットワーク」があります。登録者の徘徊が発生した場合、警察（110番による捜索願い）等を通じて日野市に連絡が入ります。次に日野市からメール登録者の皆さまに手がかりとなる情報をお知らせし、情報提供（土日祝日の場合は警察へ）をお願いしています。

実際にメール登録者の方から「外出先で似たような方を見かけた」という連絡が入り、無事に保護することができたことが多数あります。



認知症のご家族等が心配でこの仕組みに登録したいという方は、お住まいの地域を担当する地域包括支援センターまでお問合せください。

<メール登録者に届く徘徊情報>

行方不明になった方を見つける手がかりとなる以下の情報をお知らせしています。

- －発生日時、居なくなった場所
- －年齢、性別、身長、体重、髪型
- －服装上、服装下、靴、靴シール※、眼鏡・帽子等、その他の所持品

無事に発見された後には、その旨もメールで報告します。

※靴シールとは… <参考>

この仕組みに登録している高齢者の方々には、普段履いている靴に右の写真のようなシールを貼りつけていただいています。

このシールは、この方の身元を確認する情報であるとともに、見守りの目を必要とするサインにもなっていますので、このシールを貼った方が困っているような時は、注意して見ていただいたり、優しく声をかけていただいたりする等の、気かけをお願いします。



日野市高齢福祉課在宅支援係(高齢者見守り支援ネットワーク担当)

電話：042-514-8496(直通) / FAX：042-583-4198

E-mail：kourei_zaitaku@city.hino.lg.jp

(※) このお知らせは再生紙を使用しています。このお知らせを廃棄するときは、資源ゴミとして出してください。

日野市高齢者見守り支援ネットワーク

ニュースレター 第43号 2024年新春号②



日頃の見守りの役に立つ

『見守り関連情報』を Eメールで配信しています！



見守り支援ネットワークでは、高齢者等の徘徊が発生した場合、日野市から情報提供を行う「日野市行方不明者情報メール」という仕組みがあり、見守りのポイント等についてもお知らせしています。

令和5年度は以下の合計6件のメールを配信しました。掲載内容に関する詳しい情報を内面に記載していますので、こうした情報を受け取りたいと思った方は、是非下の囲みの説明を参考に登録をお願いします！

- 6/30号 “あれっ”と思った時の対応(見守りワンポイントアドバイス②)
- 8月号 熱中症にご注意ください
- 9/5号 行方不明者を見つける手がかり(見守りワンポイントアドバイス③)
- 9/19号 心配な方への声のかけ方(見守りワンポイントアドバイス④)
- 11/15号 高齢者の詐欺被害を防ぐ見守り(見守りワンポイントアドバイス⑤)
- 2/16号 ヒートショックにご注意ください

メール配信への登録方法

- ① 右のQRコードを読み取ります
- ② 配信登録フォームが表示されたら、情報を受け取るメールアドレスを入力して「確認」を押します
- ③ 日野市から登録完了をお知らせするメールが届いたら登録完了です



<注意事項>

- ※ 登録は無料ですが、メール受信にかかる通信料(パケット料金等)は自己負担です。
- ※ 情報漏洩を防止するセキュリティ水準維持のため、ご利用できない端末があります。
- ※ 登録いただいた情報はこのメール配信以外の目的では使用しません。
- ※ QRコードからの登録ができない方は、日野市HPで「SOSネットワーク」を検索し、詳細な登録方法をご確認ください。

メールでお知らせした『見守り関連情報』の内容

最近発信した2つのメールをご紹介します

高齢者の見守りを行う際のポイントをご紹介します号

具体的なやり方や関連する情報を分かりやすくまとめた動画を作成して情報発信を行いました。動画を見られない方向けに文字だけのメールも配信しています。

件名 【見守り関連情報】2023.11.15 号 ～見守りワンポイントアドバイス⑤～

市内で特殊詐欺被害が 1 年間に 1 億円超発生！

今回は、ご近所や外出先で意識しておきたいポイントをご紹介します！怪しい電話の見分け方は知っているという方も是非以下の動画をご覧ください。

▼高齢者の詐欺被害を防ぐ見守りのポイント (画像をクリックすると動画が再生されます)

①オレオレ詐欺の被害を防ぐポイント

年齢や性別、服装で“受け子”かどうかを見分けるのは困難です

動画は日野市の公式 YouTube チャンネルで公開しています
右の QR コードから
または「日野市 見守り 動画」で検索
してご視聴ください



特殊詐欺の手口と対策をもっと詳しく知りたいという方は、警視庁のこちらの WEB サイトをご覧ください。

★他にアドバイスが欲しいテーマがありましたらこちらまで
(メール配信に関するご意見ご感想もお寄せください)

⇒[こちら](#) (WEB フォームが開きます)

★高齢福祉課では見守り活動の担い手を募集しています

⇒[高齢者見守り支援ネットワークのご案内](#) (日野市公式 HP)

日野市役所 健康福祉部 高齢福祉課
在宅支援係 見守り支援ネットワーク事業担当
TEL : 042-514-8496 Mail : kourei_zaitaku@city.hino.lg.jp

★本メールの配信停止は[こちら](#)から

「熱中症」や「ヒートショック」等の注意の呼びかけをおこなう号

見守りの参考にするだけでなく、心配な方に直接注意喚起することもできるように、動画ではなく印刷・配布ができるチラシをつけて情報発信を行いました。

件名 【見守り関連情報】2024.02.16 号 ～ヒートショックにご注意を～

ヒートショックにご注意を

＝ヒートショックとは？

暖かい部屋から寒い部屋への移動など、急な温度変化が体に与えるショックのことで、失神や心筋梗塞、脳梗塞などを引き起こすこともあります。

冷え込みやすい浴室、洗面室、トイレなどの場所で起きやすく、入浴中の失神等は命取りになるため特に注意が必要です。

＝安全に入浴するためのポイント

①温度：入浴前に室を暖める、かけ湯を複数回行う

②血圧：こんなことは避ける (×食事・飲酒・薬の服薬後すぐの入浴、×熱い風呂や長風呂、×湯船から急に立ち上がる)

③見守り：同居者への入浴前の声かけ、周りに入浴時間等をお知らせ

【出典①】政府広報オンライン：<https://www.gov-online.go.jp/useful/article/202111/1.html>

【出典②】STOP! ヒートショック STATION：<https://heatshock.jp/>

【参考】ヒートショック予報：<https://tenki.jp/heatshock/3/16/4410/13212/>

上記の内容をまとめたチラシを作成しています。周りの方に紹介する際には是非ご活用ください。
<https://r18.smp.ne.jp/file/jCOhbd7Djbl320Msd23HmY4K/f003526500>

＝お知らせ等＝

★見守り活動の担い手を募集しています (見守り活動の担い手募集)

<https://www.city.hino.lg.jp/fukushi/kourei/torikae/>

★他に提起して欲しいテーマがある方はこちら

⇒WEB フォーム：

<https://forms.gle/SGkY4sXc6vTEPgeK6>

⇒FAX：042-583-4198

日野市役所 健康福祉部 高齢福祉課
在宅支援係

★見守り関連情報の配信停止はこちら

<https://r18.smp.ne.jp/o/Pg/20468363/hJDZdDH7c>

作成したチラシはこちら

【冬の見守り関連情報】ヒートショックに注意!!

交通事故死の約 2 倍!! 冬季に多い高齢者の入浴中の事故にご注意ください!!

ヒートショックとは?

暖かい部屋から寒い部屋への移動など、急な温度変化が体に与えるショックのこと

- 血圧が低下して意識を失うことがあります (入浴中に起きると浴室の中で倒れてしまう恐れがあります)
- 心筋梗塞や脳梗塞などを起こすこともあります

ヒートショックが起きやすいのは?

冷え込みやすい浴室、洗面室、トイレなどの場所です

- 特に、高齢者の入浴中の事故が多く、交通事故よりもはるかに多くの方が亡くなっています

安全に入浴するためのポイント

- ① 温度変化を緩やかにする
 - 入浴前に暖房や浴室を暖めておく
 - 湯船に入る前にかけ湯を複数回行う
- ② 血圧の急上昇や急降下を避ける
 - 食事や飲酒、薬の服用後すぐの入浴は避ける
 - 湯につかる時間は 10 分まで、湯温は 41 度以下を目安にする
 - 浴槽から急に立ち上がらない
- ③ 万一の事態に早く気付くようにする
 - 同居者がいる方は、入浴前に声をかける
 - 周りに「入浴時間」等をお知らせして見守ってもらう

【出典①】政府広報オンライン <https://www.gov-online.go.jp/useful/article/202111/1.html>
➢ 入浴中の事故はヒートショックに繋がる注意の呼びかけを行っています。
➢ 記事の最後には、おでこで冷やしている、倒れている人を発見した際の対応方法も掲載しています。

【出典②】STOP! ヒートショック STATION <https://heatshock.jp/>
➢ ヒートショックに関する正しい知識と対策方法を社会に広め、一人でも多くの方がリスクを回避できるように活動を行っています。

【参考】ヒートショック予報 <https://tenki.jp/heatshock/3/16/4410/13212/>
➢ 大気予報にもとづいて、その日の気象情報でヒートショックのリスクが最も高くなる地域を公表しています。

いいなと思った方は、是非 登録をお願いします! (登録方法は表面を参照ください)